

他教科との関連、カリキュラムマネジメントが充実した
東京都立富士高等学校・附属中学校の探究「富士未来学」
(2022年2月16日実施「SSH・探究成果発表会」)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 学長・教授

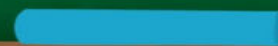
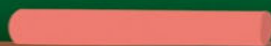
<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、2000年講師、2003年准教授、2014年教授を経て、2019年4月より現在に至る。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



- スクール・ミッション
- スクール・ポリシー（学校独自の資質・能力、カリキュラム、アドミッション）

> 中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』（2021年1月26日）

富士の生徒に育成したい資質・能力から精選

育成する3つの資質・能力



挑戦力

解決策が見いだされていない課題に、試行錯誤して取り組もうとする力
失敗から学び、より良い方法で実践するために自己調整しようとする力
新たな価値を創造し続けようとする力

理数的発見力

挑戦力を働かせて、疑問をもったことから課題を見いだす力
科学的に解決できる課題であることを判断する力
課題から仮説を設定し、科学的に検証できることを説明する力

理数的解決力

挑戦力を働かせて、検証計画を立案し、見直しながら実践する力
データを収集し、統計的な手法で分析し解析する力
解析結果を根拠に、導いた結論を他の人が納得するように説明する力

コメント

- SSHの取り組みでもあり、教育課程の「総合的な学習・探究の時間」を兼ねているものでもあるのだと思う
 - 理数探究の全員履修
 - 他教科との関連（＝カリキュラム・マネジメント）



「富士未来学」から全教科へ

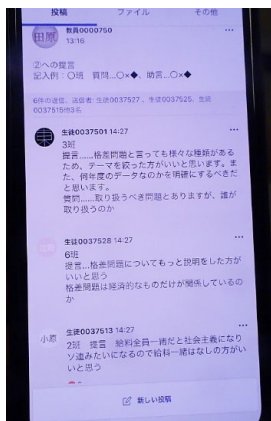
「富士未来学」をすべての教科の教員が担当

「富士未来学」の授業前に校内研修を実施

生徒の記述の評価を行う前に、複数の教員によるモデレーションを実施



授業の様子 (2020.11.18)



- 生徒が授業を展開、生徒同士の相互評価
- BYOD (Teams) によるICT利用

動画内容

Part1 生徒の発表

- 附属中学校3年生「ミニ四駆の速度と安定性」
- 高等学校2年生「ホビートレインの衝突」

Part2 教員へのインタビュー

- 野村公郎 高等学校・附属中学校 統括校長
「富士未来学について」
- 鳥谷部光 教諭「富士未来学のテキスト開発について」
- 上村礼子 高等学校・附属中学校 副校長「1年を振り返って」



それでは生徒の探究発表
インタビューをご覧ください